

Shokuhin News -2008 August-

神戸大学 農学部 生物機能化学科 食品・栄養化学研究室

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1 電話 078-803-6553 Fax 078-803-6553

e-mail: shoku@kobe-u.ac.jp http://www.kobe-u.ac.jp/shokuhin

News

オープンキャンパス

8月8日(金)に農学部のオープンキャンパスが開催された。全体での農学部説明会の後、応用生命化学コースでは、学生実験体験と研究室紹介がおこなわれた。食品・栄養化学研究室もポスターと展示物(玉ねぎ石鹸など)を用意するとともに、学生実験体験の補助を行った。



学生実験体験で参加者に説明する石垣(B4、右端)

神戸大学六甲台地区停電

8月19日(火)、毎年恒例の電気保安点検のため、停電となった。

本年度もドライアイスとポータブル発電機による対応となった。不足の事態に備え、研究室のメンバーが交代で研究室にて待機したが、夕方5時過ぎには電力も復旧し、特に大きな問題もなく終了した。

それでは真夏の停電の思い出を谷(M2)がコメント。

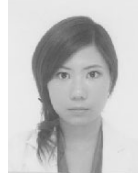
朝いちのシフトだったので、各冷蔵庫・冷凍庫にドライアイスを設置し、主な機械を発電機につなぎ、アラームの対応をしているうちに時間が過ぎてしまいました。今年は橋本先生が農学部棟のお手伝いに行かれていたのでアルコールの出番もなく、あまり印象に残っていません。去年の今頃は、OBの尾崎さんの口にヘルペスができ

ていたことが思い出されます。尾崎さん、お元気でしょうか。またビール送ってください。

谷

～新コーナー～

大井直美の ミネソタの風



食品・栄養化学研究室の皆さま、ご無沙汰しております。2007年度博士修了の大井です。学位取得後3週間だけ食品で研究員としてお世話になるという、先生方や錦さん、事務の方にとって非常に迷惑な暴挙に出た後、アメリカ合衆国はミネソタ州のオースティンにあるホームレス研究所でポスドクとして働き始めて早4ヶ月が経ちました。

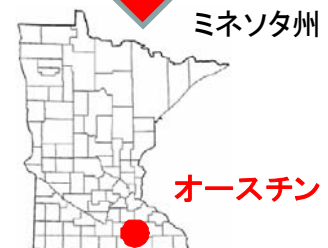
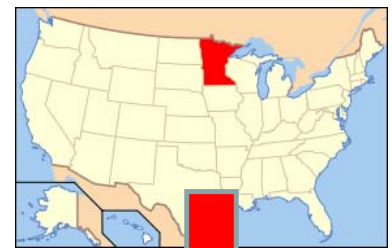
まずは、英語が話せない！田舎過ぎて電車もなく、車生活を余儀なくされるにも関わらず運転したことない！免許を取ろうにも、筆記試験が英語！！と、まずは生活のセットアップに追われること2ヶ月。さらに、研究所はおろか町中を探しても日本人は居らず、ラボ内で周囲を見渡せば韓国人、中国人はたまたロシア人のオンパレード。周りを飛び交う外国語を聞いているだけで疲れ、話しかけられても英語ができずしどろもどろ。分からない事を聞くにも英語で話す勇気が出ずに数日を無駄に過ごし…。オドオドするだけで何もできず、ただ研究所に通うだけの日々が続きました。しかし慣れというもの恐ろしいもので、いまやポスドク仲間とガールズトークに花を咲かせ、喫煙スペースで新たなコミュニティを見つけ(禁煙を試みましたが、1週間で断念いたしました)、ピンク白衣もデビューを果たし…。段々と地が出てきました。しかし、新天地ではキャラクターも新たに！としっかり者を志したにもかかわらず、

やれボスとのディスカッションだ、やれ初ミーティングでの発表だといって先輩ポスドクに泣きついては練習に付き合ってもらい、前日は心配した人たちから電話が鳴る鳴る…。ダメキャラ健在です。人間、どこに行っても変わらないものですね。

こんな感じでアメリカ生活をスタートさせました。おそらくボスは、6年前に同じくポスドクとして働いておられた橋本さんとのあまりの違いにびっくりされていることでしょう…。とはいえお給料をもらっている身ですので、甘えてばかりもいられません。早く結果を出さねばと焦っております。諸先輩方に少しでも近づけるよう、食品の名を汚さぬよう、日々精進してまいりたいと思っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

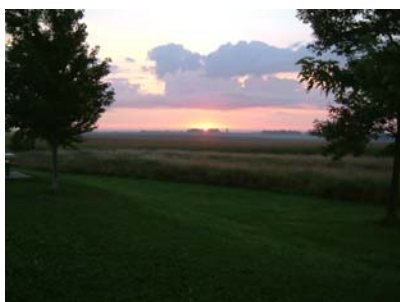
大井直美

アメリカ在住の大井氏(08年博士修)が3ヶ月に一度、近況を報告するコーナーが始まりました。ミネソタ州やオースティンのことを知らない方も多いと思いますので、参考にその位置や写真などを紹介しておきます。





ホームレル研究所に隣接するホームレル本社（2002年8月 写真：橋本）



ミネソタ州オースチン近郊
（2002年8月 写真：橋本）



ミネソタ州グースベリーフォールズ公園の滝（2002年8月写真：橋本）



ミネソタ州スペリオール湖
（2002年8月 写真：橋本）

大学院博士課程前期課程 入学試験

8月19日(火)、20(水)に博士前期課程の入学試験が行われ、食品・栄養化学研究室からは4回生

の5名(石垣、河野、下秋、高見、桃田)と研究生1名(龍)が受験。今年度から、受験科目が変更され、専門科目2科目が、専門科目1科目と共通科目の2科目へととなった。なお、共通科目については、募集要項・別紙において「共通科目では、生化学、微生物学、分子生物学、有機化学、物理化学の基礎知識を問う。」とされている。

試験の結果は、無事に全員が合格した様子。受験生を代表して桃田が喜びのコメント。

今年から始まった共通科目は何か出るかわからなかったのが苦戦しましたが、自分の力は出せたと思います。そして、普段はあまり勉強する機会の無い分野の勉強もできたので院試は自分にとってプラスになりました。少し休憩してから中間発表に向けてデータをまとめていこうと思います。
桃田

来年度以降も研究室の一員としてよろしくお願いします!!

業績

論文発表

Mayumi Okamoto, Takashi Hashimoto, Miho Goto, Shinji Fujiwara, Masashi Nagai, Isao Okunishi, and Kazuki Kanazawa. Consumption of horseradish Leaf extract regulates drug-metabolizing enzymes in mice. *J. Clin. Biochem. Nutr.* **43**(Suppl. 1), 124-127, 2008 (Proceedings of ICoFF 2007)

Takashi Hashimoto, Midori Nobuchi, and Kazuki Kanazawa. Screening for phytoestrogens that exhibit binding affinity to the androgen receptor. *J. Clin. Biochem. Nutr.* **43**(Suppl. 1),

132-135, 2008 (Proceedings of ICoFF 2007)

Mayumi Okamoto, Takashi Hashimoto, Miho Goto, Masashi Nagai, Isao Okunishi, and Kazuki Kanazawa. Preventive effects of wasabi leaf extract on carcinogenic initiation. *J. Clin. Biochem. Nutr.* **43**(Suppl. 1), 251-254, 2008 (Proceedings of ICoFF 2007)

Yoshiaki Ozaki, Shin-ichi Katsumata, Mariko Uehara, Takashi Hashimoto, Swadesh K. Das, Kazuharu Suzuki, and Kazuki Kanazawa. Accumulation of fucoxanthin and its metabolites in mice after *ad libitum* administration of kombu extract-containing diet for one month. *J. Clin. Biochem. Nutr.* **43**(Suppl. 1), 269-272, 2008 (Proceedings of ICoFF 2007)

Yosuke Azuma, Takashi Hashimoto, Hiroki Nomura, Swadesh K. Das, Yoshiaki Ozaki, and Kazuki Kanazawa. Fucoxanthin induced apoptosis in human hepatocarcinoma HepG2 cells. *J. Clin. Biochem. Nutr.* **43**(Suppl. 1), 273-276, 2008 (Proceedings of ICoFF 2007)

編集後記

今回昨年度お世話になった大井さんから、近況をお知らせいただきました。多くの先輩方に恥ずかしくないようがんばる気持ちを新たにしています。

食品ニュースでは先輩方からの投稿をお待ちしています。掲載したいニュース等ありましたら是非ご投稿ください。

M2 前田太史